このページは全員記入必須

前年用（表）

収入計算書［前年（2022 年 1 月～ 12 月）用］

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

○進学予定学校名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿大学 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿研究科

○進学予定課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程／専門職大学院課程（法科大学院を除く）
2. 博士後期課程
3. 博士医・歯・薬（４年制）・獣医学課程
4. 法科大学院

○申込者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

［各項目 1 万円未満切捨て］

前年（2022年1月～ 12月）の収入額		
	収入項目	収入額（A）
定職（◎）	定職（本人）	（年額） 万円
	定職（配偶者）［該当者のみ］	（年額） 万円
アルバイト（◎）	アルバイト 1	（年額） 万円
	アルバイト 2	（年額） 万円
	アルバイト 3	（年額） 万円
父母等からの給付額（★）		（年額） 万円
奨学金		（年額） 万円
・その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等）		（年額） 万円
収入額合計（※）		（年額） 万円

学生本人の収入額のみ記入してください。
証明書類は「令和4年の源泉徴収票」を用意してください。
どうしても発行が難しい場合は、2022年1月～12月分の給与明細もしくは給与振込のある通帳のコピーを添付してください。
詳細は、「貸与奨学金案内」22-25ページをご確認ください。

［記入時の注意事項］
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

「父母等からの給付額」は、給付の有無に関わらず2枚目の前年用裏に、父母等の署名を必ずもらってください。
※学生自身の署名は認められません。

★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

奨学金の証明は月額が分かるものを添付してください。

［重要］
収入額合計は、0万円とならないよう記入してください。

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2022年となります。

［収入欄に記入した収入証明書を裏面に貼付］

前年用（裏）

証明書類貼付欄 〔収入に関する証明書のみ貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

前年用に不足記入欄があるときは、裏面に記入してください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　○申込者との関係（続柄）＿＿＿＿＿

（2022年）

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	
		合計	円

スカラネット入力用合計金額	万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（１万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700 円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30 万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。

本年見込用（表）

変動ある場合のみ

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入に変動がない場合、「本年」の記入は不要です。

収入計算書［本年見込（2023 年 1 月～12 月）用］

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（以下の該当する方に、「○」を付けてください。）

	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動はありません。	➡	このページは記入不要。
	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、変動しますので、以下のとおり報告します。	➡	**両ページの各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目は、前年と同じ金額を記入）。**

［各項目 1 万円未満切捨て］

本年（2023年1月～ 12月）の収入見込額		
	収入項目	収入額（B）
定職（◎）	定職（本人）	（年額）　万円
	定職（配偶者）［該当者のみ］	（年額）　万円
アルバイト（◎）	アルバイト 1	（年額）　万円
	アルバイト 2	（年額）　万円
	アルバイト 3	（年額）　万円
父母等からの給付額（★）		（年額）　万円
奨学金（申込中の奨学金は除く）		（年額）　万円
・その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等）		（年額）　万円
収入見込額合計（※）		（年額）　万円

「変動」とは、別の勤務先に変わったり、アルバイトの数が変更になった場合を指します。収入の若干のゆらぎについては変動に含みません。

［記入時の注意事項］
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。

「父母等からの給付額」は、給付の有無に関わらず2枚目の前年用裏に、父母等の署名を必ずもらってください。
※学生自身の署名は認められません。

★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。

［重要］
収入額合計は、0 万円とならないよう記入してください。

⚠ **本年収入見込額を「0 円」とすると、前年の収入額合計で審査されます。**

※2024年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2023年となります。

［前年の収入から変動のある証明書のみ裏面に貼付］

本年見込の収入について、前年と変動がない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用（裏）

証明書類貼付欄 〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
・収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について（給付者が記入してください）

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　○申込者との関係（続柄）＿＿＿＿＿

（2023年）

1月	円	7月	円
2月		8月	
3月		9月	
4月		10月	
5月		11月	
6月		12月	
		合計	円

スカラネット入力用合計金額	万円

スカラネット入力時の単位は「万円」です（１万円未満切捨て）。

例：合計額 309,700 円 ⇒ スカラネット入力用合計金額 30 万円

※ 月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。